

アジア文学の新たな息吹を伝えるシリーズ〈物語の島 アジア〉第5弾は韓国

心に残る静かな光——韓国文学の深部へ

認知症の母を想う息子、セックスワーカーの母に寄り添う娘、不法滞在外国人の帰国、南北に分かれた故郷を想う老人。時の流れのなかで懸命に人生と向きあう人々をとおして、韓国の現在と過去の記憶を、丁寧なまなざしで映し出す。韓国文学において確かな存在感を示す作家がおくる短編秀作12編。

二度の自画像

チョン・ソンテ【著】 吉良佳奈江【訳】

四六変形判・並製・420頁・定価：本体2800円＋税



【目次】

遠足
見送り
釣りをする少女
えさ茶碗
おもてなし
『労働新聞』
墓参
望郷の家
白菊を抱いて
消された風景
桜の木の上で
物語をお返しします

【著者紹介】チョン・ソンテ

1969年、韓国全羅南道高興郡に生まれる。中央大学芸術学部文芸創作科在学中に、都市と地方の間に横たわる問題について方言を効果的に用いて描いた「鶏追い」（『実践文学』1994年秋号）で実践文学新人賞を受賞し文壇デビュー。以降、着実な創作活動を続け、2008年より中央大学で後進の指導にあたる。2021年より国立順天大学文芸創作科教授。

【訳者紹介】吉良佳奈江

東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士後期課程在籍中。法政大学講師。専門は韓国近現代文学。主な翻訳にチャン・ガンミョン『韓国が嫌いで』（ころから、2020年1月）、チョン・ミョンガン「退社」『たべるのがおそい』7号（2019年7月）など。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行：東京外国語大学出版会 TEL.042-330-5559 FAX.042-330-5199
			チョン・ソンテ【著】 吉良佳奈江【訳】 二度の自画像 四六変形判・並製・420頁・定価：本体2800円＋税
		冊	ISBN978-4-904575-88-8 C0097 ￥2800E